

図面マーカー

目次

1.図面マーカーの作成	2
図面マーカーパネル	
分類の設定	
図面マーカーの追加	
2.図面マーカーの利用	13
図面マーカーの利用	
3.図面マーカーの保存・読み込み	17
マーカーの保存	
マーカーの読み込み	
Excelファイルに保存	
Excelファイルから読み込み	

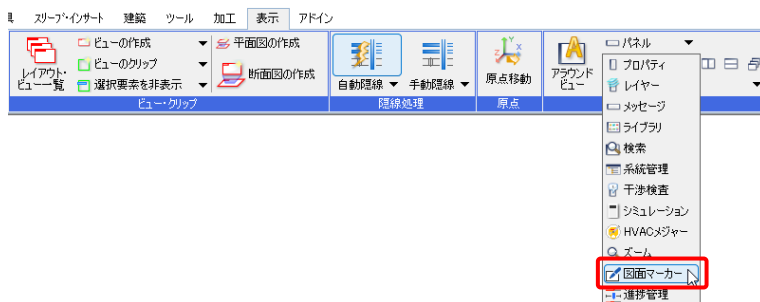
1.図面マーカ-の作成

図面マーカ-機能を使用し、図面上にシェイプ(ピン、雲、矢印、文字)を作図したり、注意事項やコメントを記入し、情報を共有することができます。

マーカ-情報は、レプロとレプロビューアで利用でき、複数の関係者間でやりとりが可能です。情報共有や確認作業を効率的に行うことができます。

図面マーカ-パネル

[表示]タブ-[パネル]-[図面マーカ-]をクリックし、[図面マーカ-]パネルを開きます。



分類、タブごとにマーカ-を追加し、コメントなどを表示することができます。

分類を追加、選択します。(p.3参照)

No.1

マーカ-の表示を絞り込みます。(p.14参照)

No.1

タブごとにマーカ-を追加できます。

No.2

マーカ-一覧

[設定]から登録したマーカ-の情報をファイルやExcelに保存、読み込みができます。(p.17参照)

マーカ-の状態の確認、変更ができます。

選択したマーカ-のコメントや作成者が表示されます。
※作成者についてはp.3補足説明参照

コメントが複数ある場合は、矢印で表示を切り替えます。

- 補足説明

マーカの追加前にコメント作成者を設定する必要があります。

[ホーム]タブ-[ユーザー情報]を開き、[コマンド表示名]で作成者名を入力します。

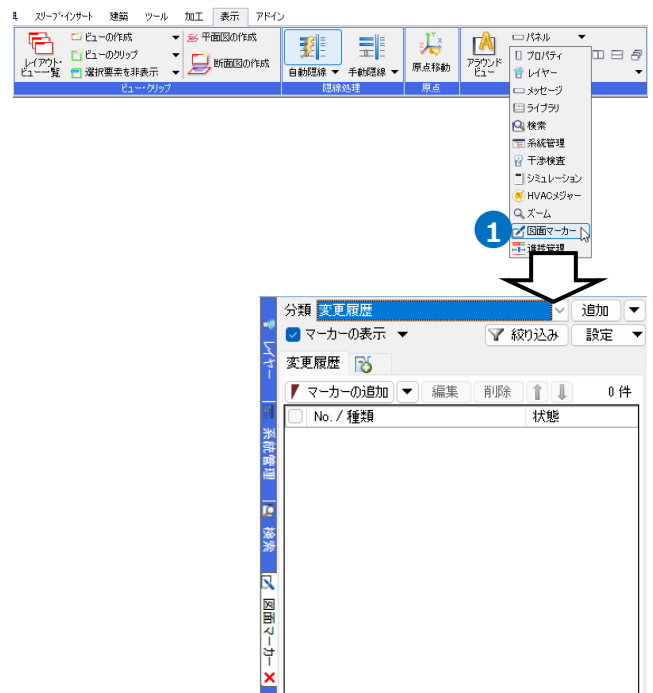


分類の設定

新規図面を作成した場合、出荷値として「変更履歴」という名前の分類が作成されます。分類は、新規に追加したり削除することができます。分類ごとにタブを作成し、マーカを登録します。

分類の追加

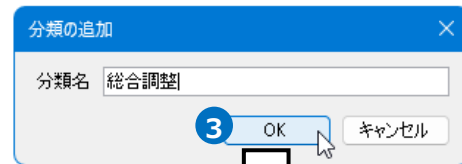
- 1 [表示]タブ-[パネル]-[図面マーカ]をクリックします。
→[図面マーカ]パネルが表示されます。



- 2 [追加]をクリックし、分類を追加します。



- 3 分類名を入力し、[OK]をクリックします。
→分類が追加されます。

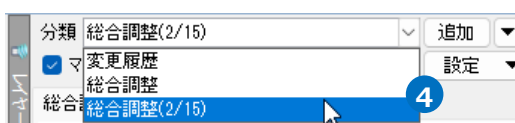
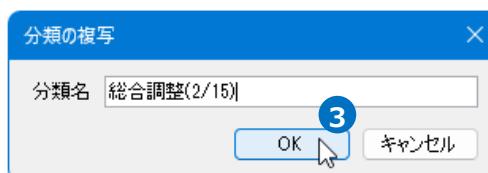


分類名と同じタブが作成されます。
このタブ名は変更することもできます。
(p.6参照)



分類の複写

- 1 複写したい分類を選択します。
- 2 [追加]横の[▼]から[分類の複写]を選択します。
- 3 分類名を入力し、[OK]をクリックします。



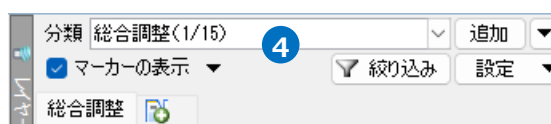
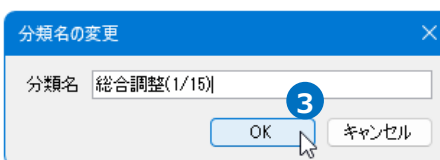
- 4 分類が複写されます。

Memo

マーカーを追加した分類を複写した場合、マーカーも複写されます。

分類名の変更

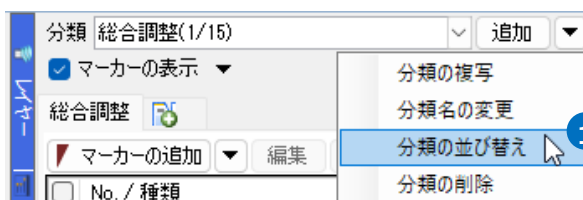
- 1 名称を変更したい分類を選択します。
- 2 [追加]横の[▼]から[分類名の変更]を選択します。
- 3 変更後の分類名を入力し、[OK]をクリックします。



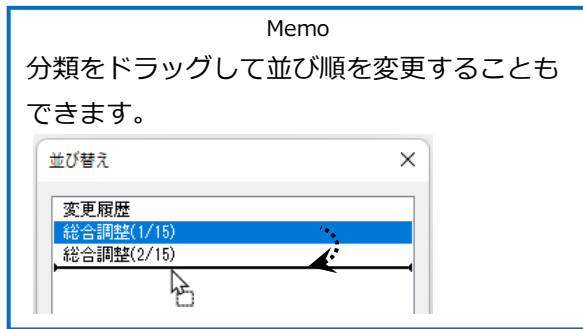
- 4 分類名が変更されます。

分類の並び替え

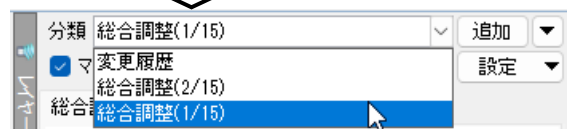
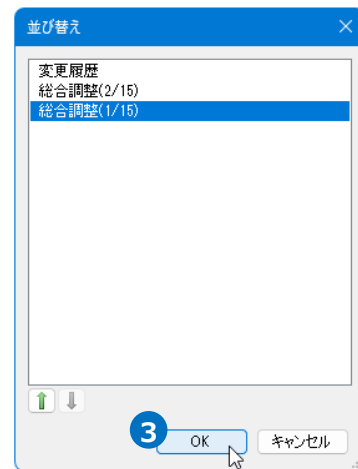
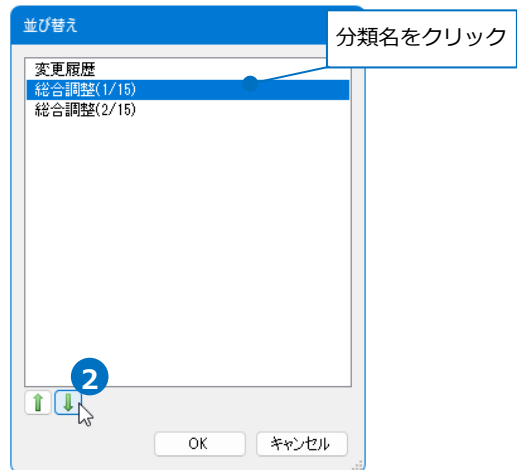
- 1 [追加]横の[▼]から[分類の並び替え]を選択します。



- 2 並び替えたい分類名を指定し、矢印をクリックします。

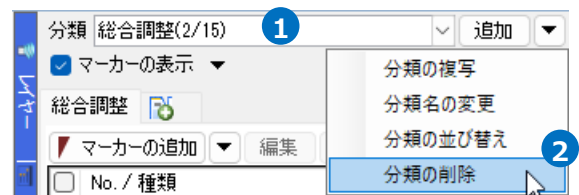


- 3 [OK]をクリックします。
→分類の並び順が変更されます。

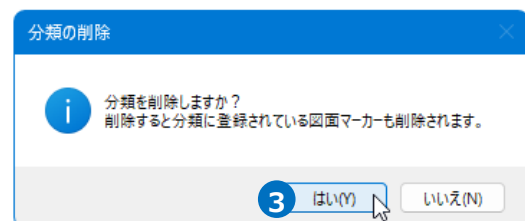


分類の削除

- 1 削除したい分類を選択します。
- 2 [追加]横の[▼]から[分類の削除]を選択します。



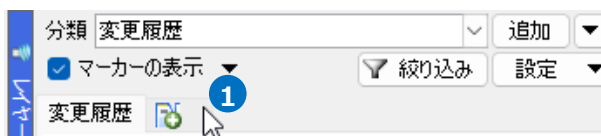
- 3 [分類の削除]ダイアログが表示されます。
[はい]をクリックして削除します。
→分類と、分類に登録されていた図面マーカースが削除されます。



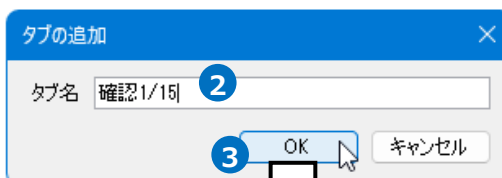
タブの追加

分類内に[タブ]を追加し、タブごとにマーカーを追加できます。

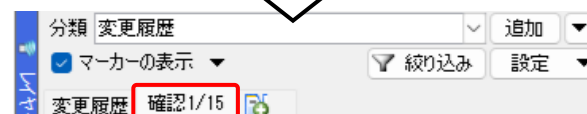
① [タブの追加] をクリックします。



② [タブの追加]ダイアログでタブ名を入力します。

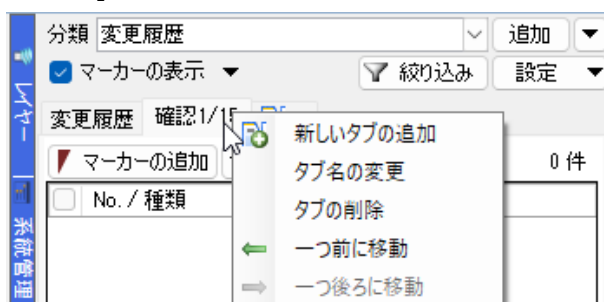


③ [OK]をクリックします。
→タブが追加されます。



● 補足説明

タブ上で右クリックすると、タブ名の変更、タブの削除などを行うことができます。[一つ前に移動][一つ後ろに移動]をクリックすると、タブの順番を一つ前や後ろに移動できます。



図面マーカの追加

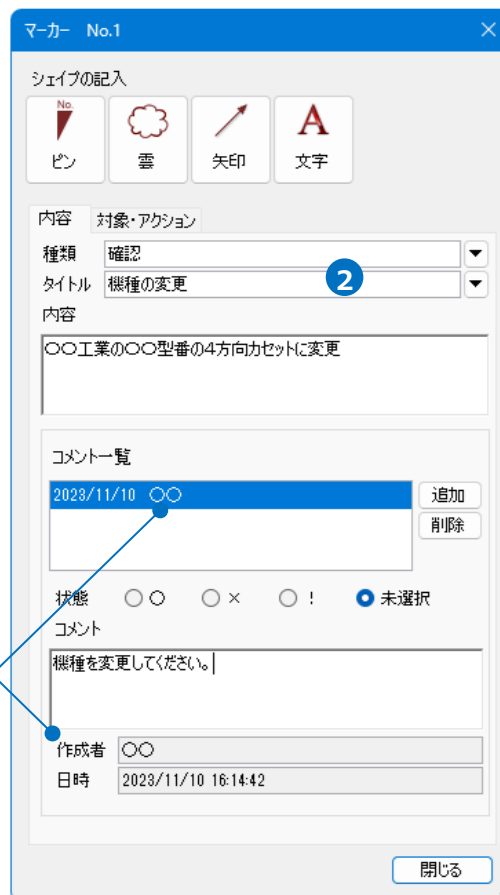
分類にマーカを設定します。マーカは1つずつ追加、一括追加、CGシーンからの追加が行えます。

マーカの追加

- 1 マーカを追加したい分類とタブを選択し、[マーカの追加]をクリックします。



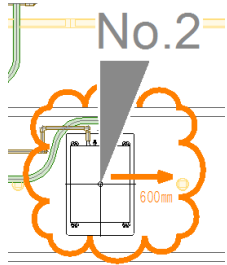
- 2 [マーカ]ダイアログが表示されます。種類やタイトル、内容、コメントを入力します。



- 3 記入したいシェイプを選択します。

Memo

シェイプは1つのマーカに対して複数設定することも可能です。

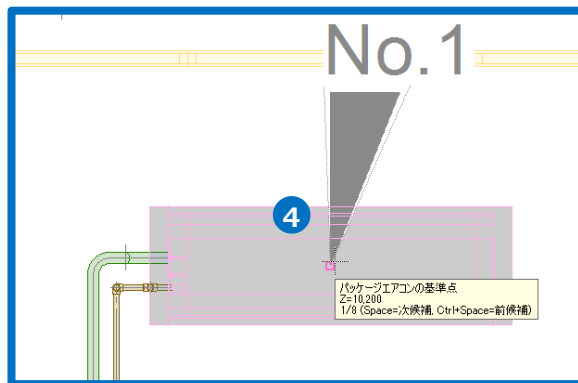


シェイプの雲、矢印、文字は、ペーパー/モデルのどちらにも作図が可能です。ペーパーモードで作図した場合は、作図したレイアウトのみに表示されます。

ピンはモデルモードのみで、CG画面上にも表示します。



4 図面上で配置位置を指定します。

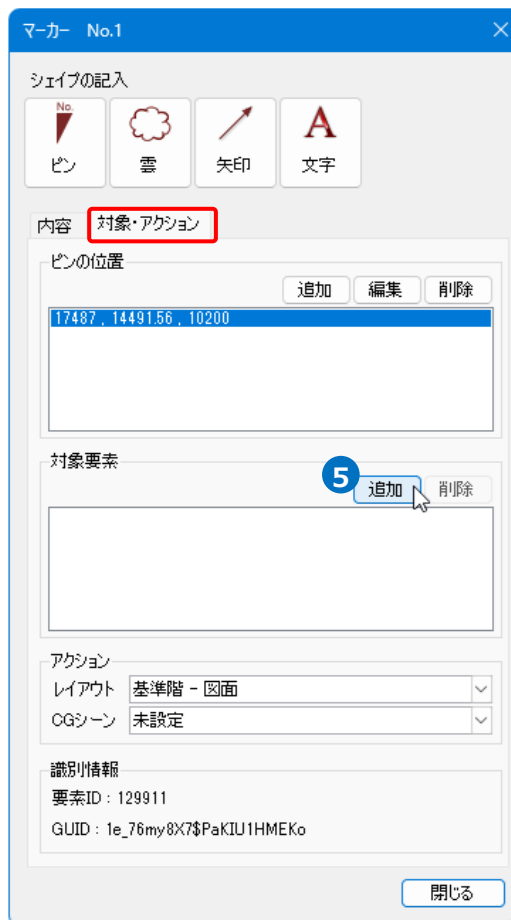


5 対象要素を追加します。

[対象・アクション]タブに切り替え、対象要素の [追加] をクリックします。

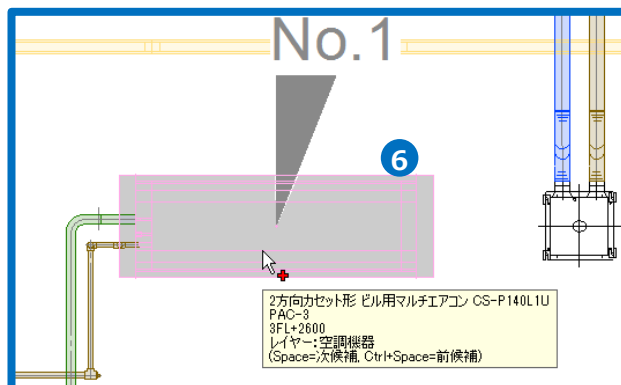
Memo

対象要素を設定すると、マーカー選択時に対象要素の色も変わります。(p.13参照)



6 図面上で対象要素を選択します。

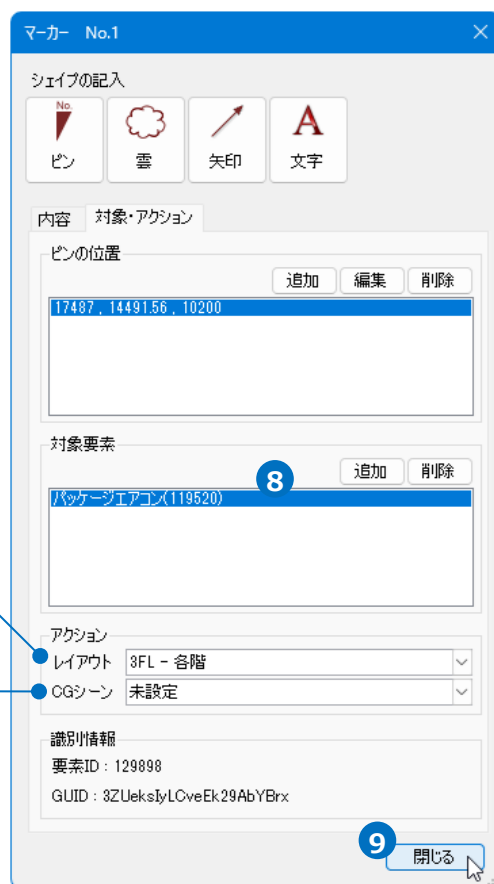
7 コンテキストメニューから[確定]をクリックします。



- 8 [対象要素]に選択した要素が設定されます。
- 9 [閉じる]をクリックし、[マーカー]ダイアログを閉じます。

マーカーをダブルクリックした時に切り替えるレイアウトを選択します。
初期値はカレントレイアウトです。(p.16参照)

マーカーをダブルクリックした時に表示するCGシーンを選択します。(p.16参照)



- 10 マーカーが[図面マーカー]パネルに登録されます。



マーカーの一括追加

配置対象の要素や順序を指定して、図面マーカーを一括で追加します。ピンと対象要素を一括で設定することができます。

例：ナンバリングしたスリーブにマーカーを一括追加します。

- 1 マーカーを追加したい分類を選択し、[マーカーの追加]横の[▼]-[マーカーの一括追加]をクリックします。



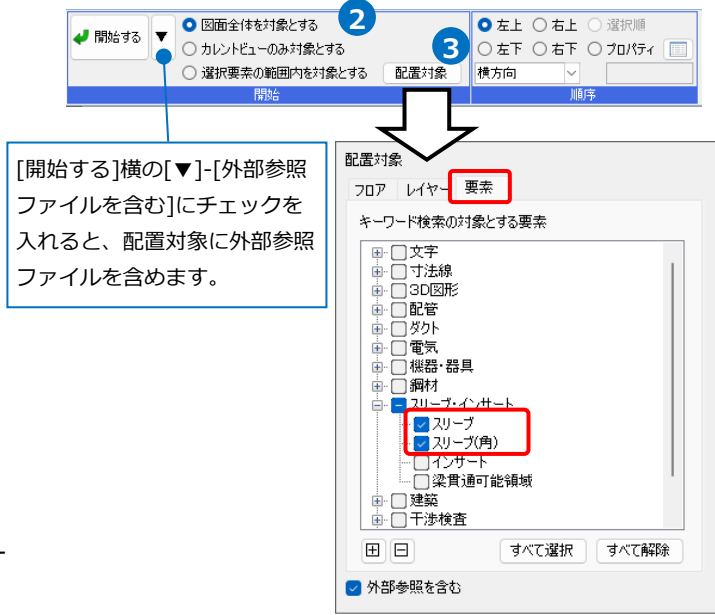
- 2 配置する対象範囲を選択します。

Memo

「図面全体を対象とする」：
図面全体の要素を配置対象とします。

「カレントビューのみ対象とする」：
カレントビューに表示されている要素を配置対象とします。

「選択要素の範囲内を対象とする」：
選択した要素を配置対象とします。



- 3 配置する対象要素を絞り込みます。

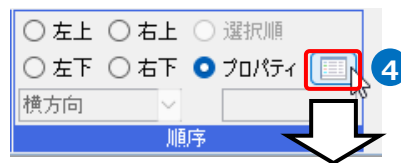
[配置対象]をクリックし、[要素]タブで[スリーブ・インサート]-[スリーブ][スリーブ(角)]にチェックを入れます。

- 4 図面マーカーを配置する順序を指定します。

ここでは、ナンバリングしたスリーブの番号順に配置します。

「プロパティ」を選択し、[プロパティの選択]をクリックします。

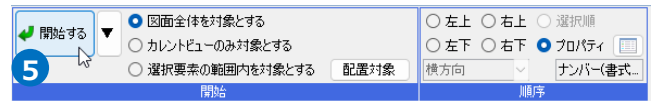
カテゴリ「サイズとルート」、プロパティ項目「ナンバー(書式付き)」を選択し、[OK]で閉じます。



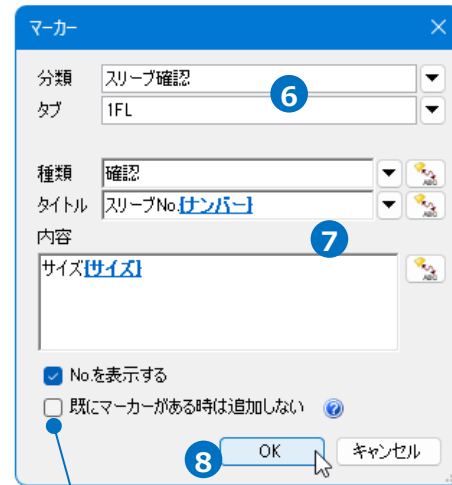
Memo

[順序]パネルで「左上」「左下」「右上」「右下」の方向を選択することで、図面上の位置で、図面マーカーを配置する1点目の要素が指定できます。「横方向」/「縦方向」で図面マーカーの順序を指定します。

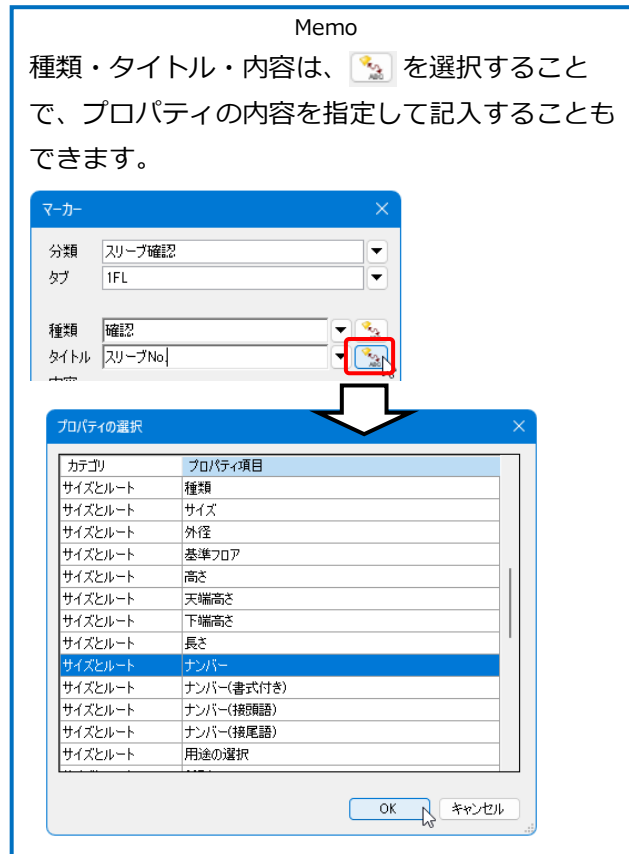
5 [開始する]をクリックします。



6 [マーカー]ダイアログでマーカーを追加する分類とタブ名を選択、または入力します。



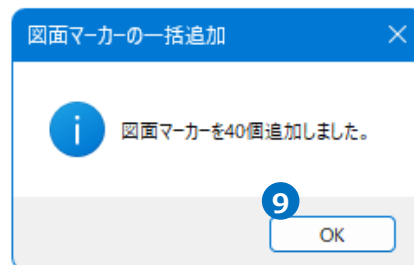
7 種類・タイトル・内容を入力します。



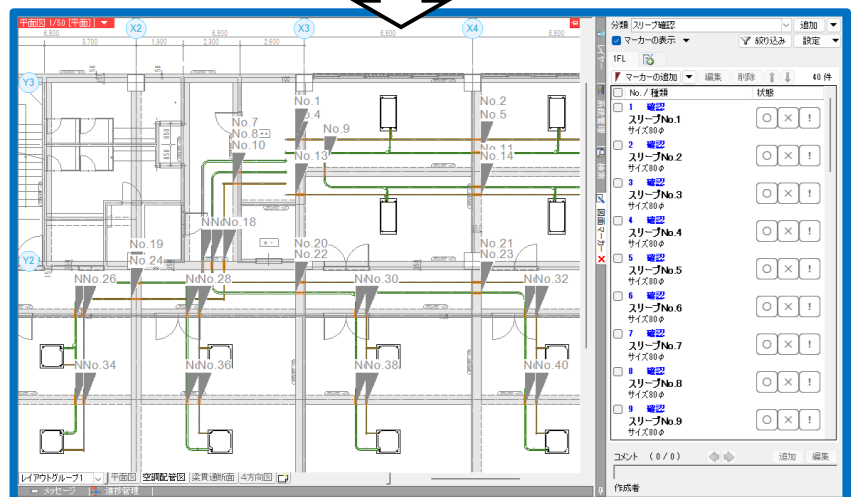
[No.を表示する]にチェックを入れると、ピンに図面マーカーのNo.を表示します。

[既にマーカーがある時は追加しない]にチェックを入れると、対象要素の基準点に、同じ[分類][タブ]に存在する図面マーカーのピンがある場合、マーカーを追加しません。

8 [OK]をクリックします。

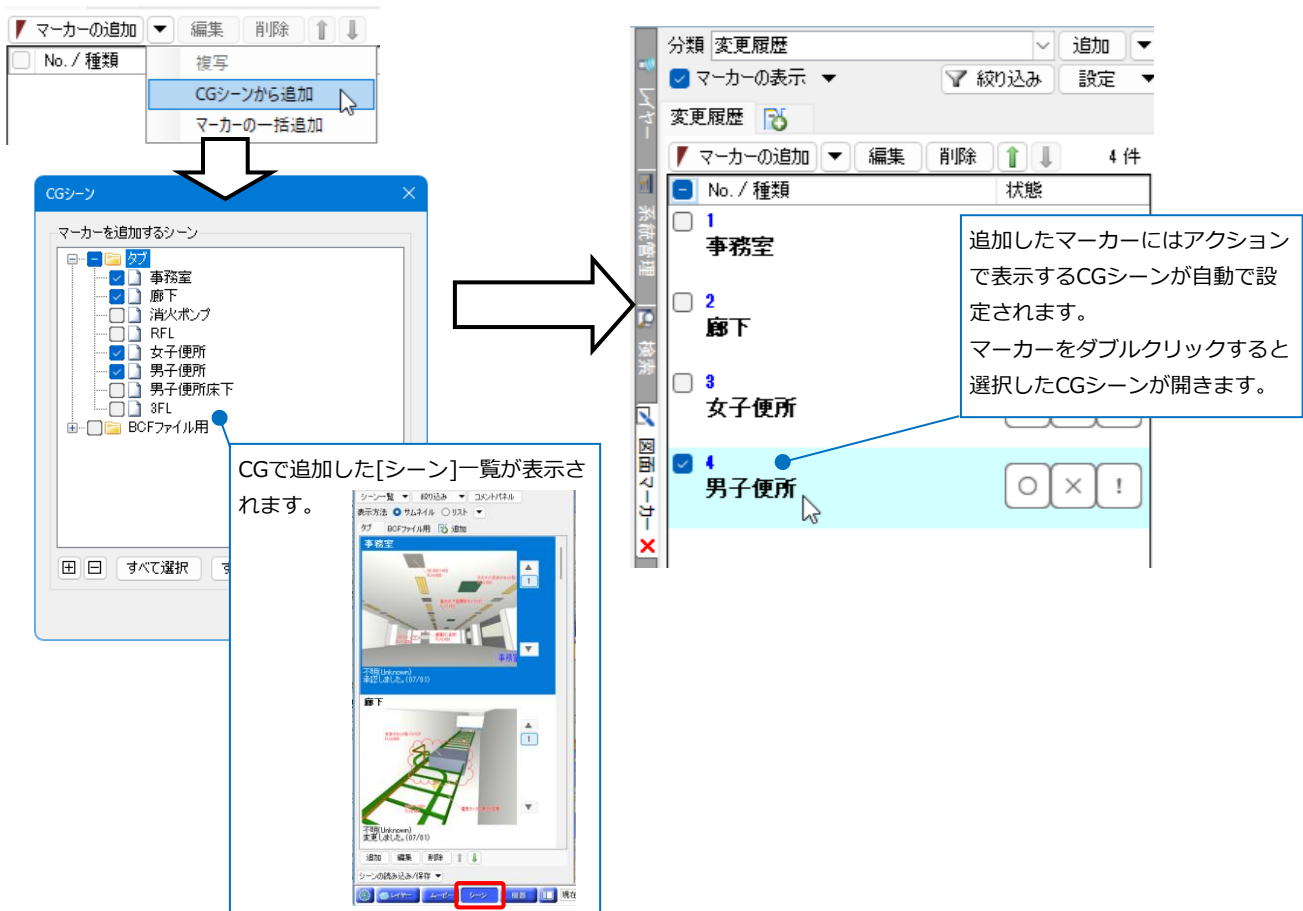


9 図面マーカーが一括で追加され、追加した個数が表示されます。[OK]で閉じます。



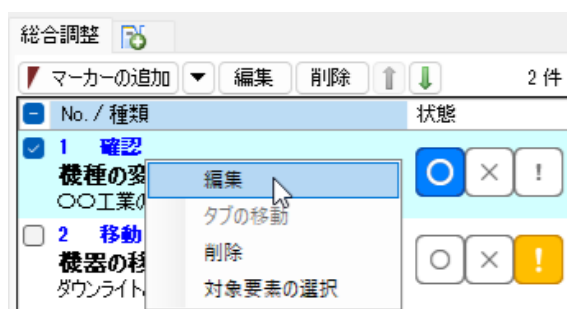
- 補足説明

[マーカの追加]横の[▼]-[CGシーンから追加]を選択すると、[CGシーン]ダイアログが開き、選択したシーンをマーカとして追加できます。



- 補足説明

マーカ名を選択し、右クリックで[編集]を選択すると、[マーカ]ダイアログが開き、マーカの内容を確認、変更できます。



[削除]を選択すると、選択したマーカが削除されます。

[対象要素の選択]を選択すると、選択しているマーカの対象要素を図面上で要素選択できます。
([対象要素]の設定についてはp.8~9参照)

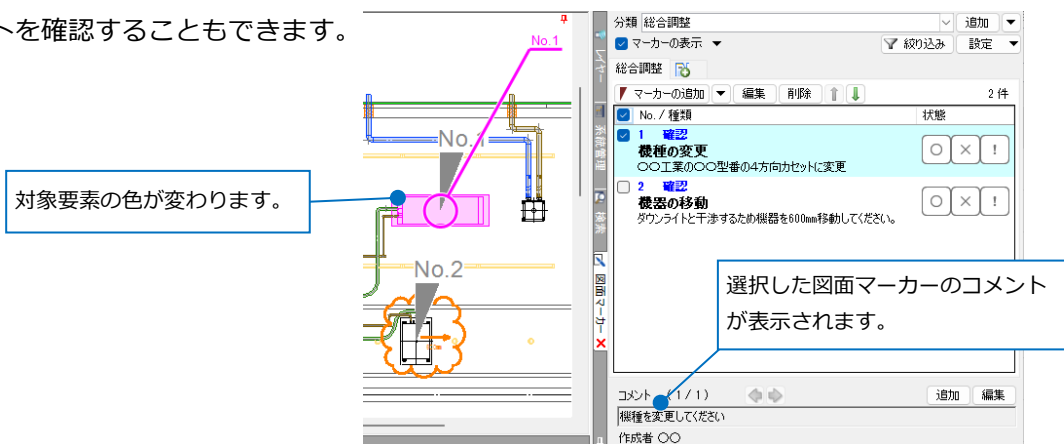
2. 図面マーカーの利用

図面マーカーの利用

図面マーカーを追加した図面に対して、コメントを確認し、要素の編集などを行い、編集後の状態とコメントを追加することで状況を共有できます。

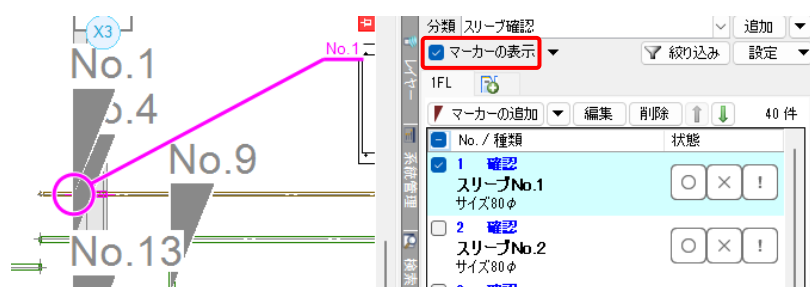
マーカーの表示

図面マーカーを選択すると、マーカーのNoが図面上に表示され、対象要素を追加した場合、要素の色も変わります。コメントを確認することもできます。

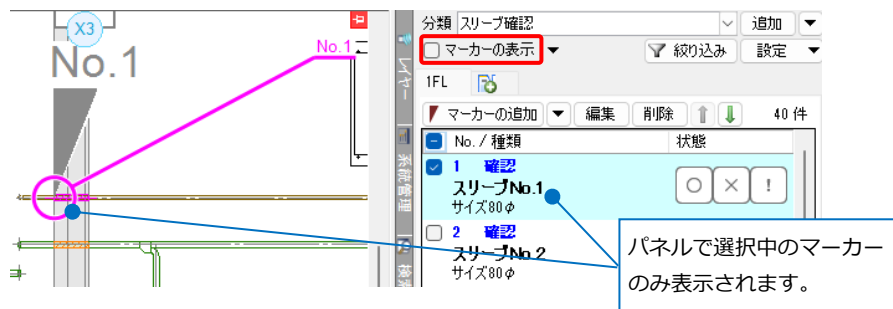


[マーカーの表示]にチェックを入れると、選択しているタブのマーカーが図面・CGで表示されます。チェックを外している場合でも、作図中のマーカーや[マーカー一覧]で選択しているマーカーは表示されます。

チェックあり



チェックなし



[マーカ-の表示]横の[▼]からNo.の文字サイズやピンのサイズなどの設定が行えます。

チェックを入れると、[マーカ-一覧]で選択した時に対象要素もラバー表示されます。

チェックを入れると、アクションを実行した時にマーカ-ごとに設定されているレイアウトに切り替えます。

チェックを入れると、アクションを実行した時にマーカ-ごとに設定されているCGシーンを表示します。CGシーンが未設定の場合、ピンがあればピンの位置へ移動します。

チェックを入れると、[マーカ-一覧]で選択した時にシェイプのレイヤーが非表示の状態でも表示に切り替えます。

マーカ-の状態は「○」「×」「！」の3パターンから選択できます。
状態を設定するとピンの色も設定した状態の色に合わせて変わります。

状態を設定したピンの色が変わります。

状態を選択します。

マーカ-一覧の絞り込み

[絞り込み]をクリックすると、状態やシェイプ、種類ごとに[マーカ-一覧]のマーカ-の表示を絞り込む条件を設定できます。

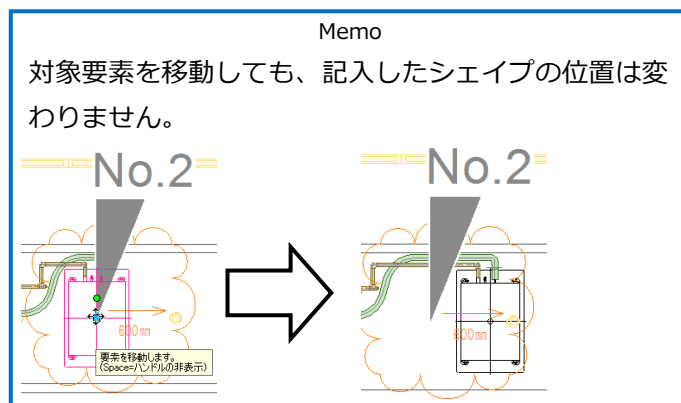
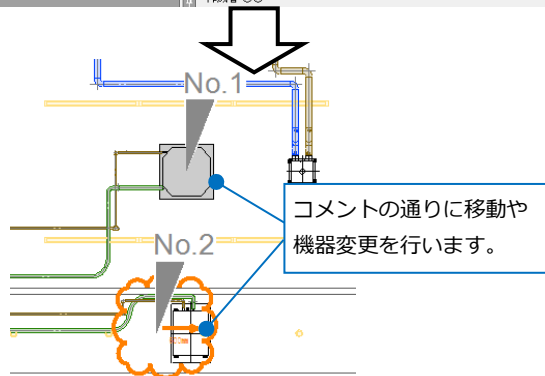
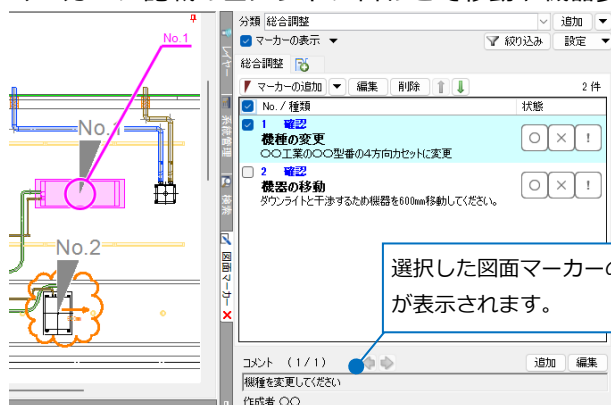
絞り込みたい条件にチェックを入れます。

タブを切り替えると絞り込みはリセットされます。

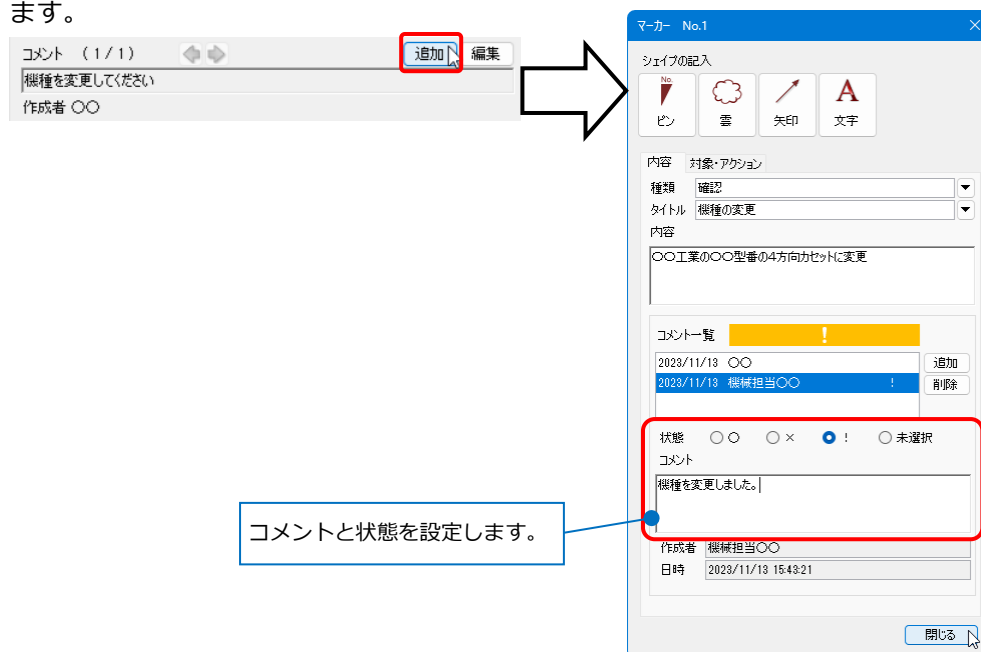
チェックを入れた項目に当てはまるマーカ-のみ表示されます。

コメントの確認・追加

マーカーに記載のコメントに合わせて移動や機器変更など図面の編集を行い、コメントを追加します。

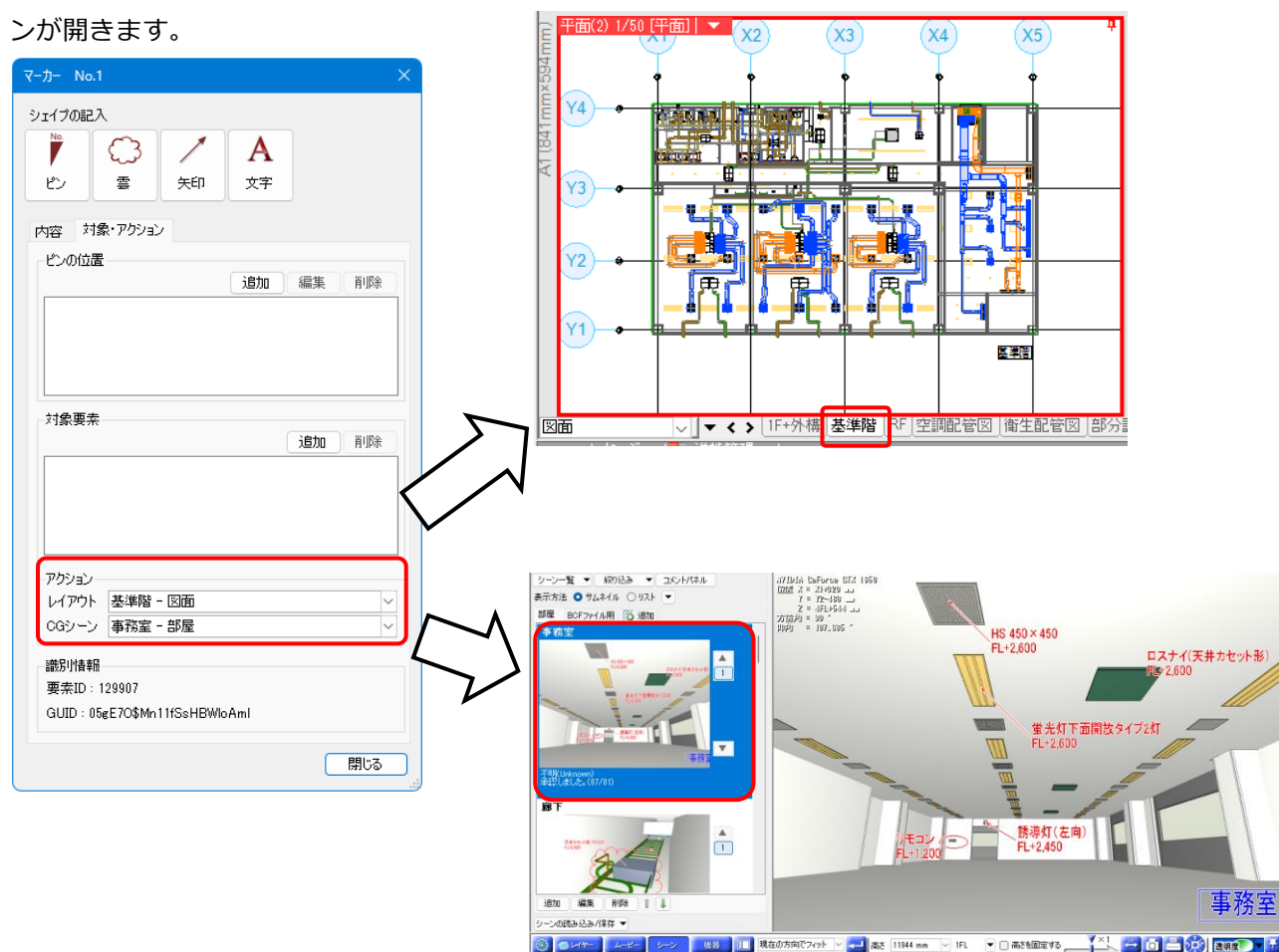


コメント欄の[追加]をクリックします。コメントを入力し、状態を設定したら[閉じる]でダイアログを閉じます。

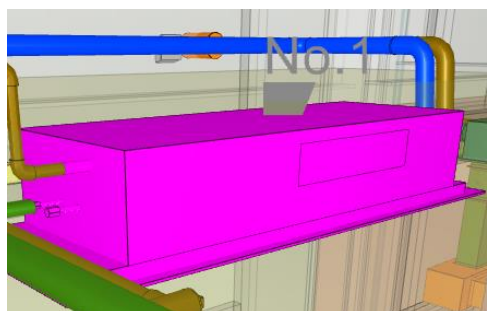


アクションの実行

マーカーのシェイプ(ピン)、もしくは[図面マーカー]パネル上でマーカー名をダブルクリックするとアクションが実行されます。[アクション]でレイアウトやCGシーンを指定している場合は、指定したレイアウト、シーンが開きます。



CGシーンが「未設定」の場合は、指定したマーカーを中心にCG画面を開くことができます。



Memo

マーカーのシェイプが「ピン」以外でCGシーンが未設定の場合、CG画面は開きません。

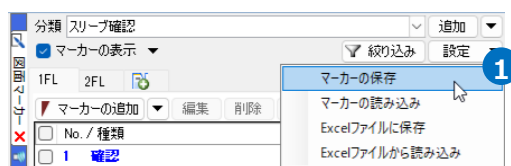
3. 図面マーカースの保存・読み込み

マーカースを分類、タブごとに保存して、別ファイルで読み込むことができます。また、Excelファイルに出力し、Excel上で状態やコメントを追加して、読み込みを行い、情報を追加することができます。レブレビューアでマーカースの追加や編集をした場合は、[マーカースの保存]または[Excelファイルに出力]することでレブローに受け渡し、図面に保存することができます。

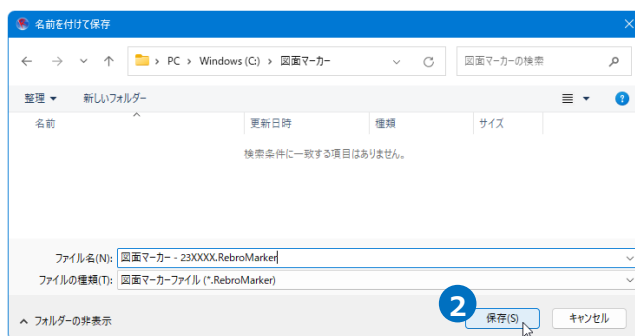
マーカースの保存

登録した図面マーカースを保存します。

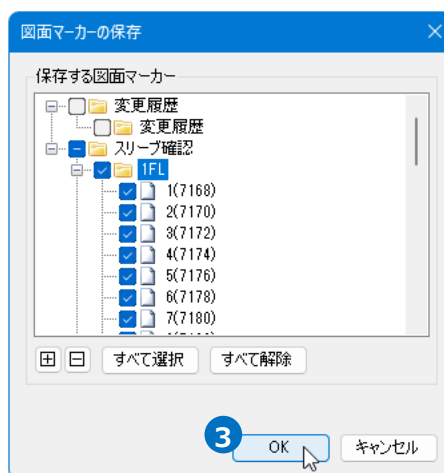
- 1 [図面マーカース]パネルで[設定]-[マーカースの保存]をクリックします。



- 2 [名前を付けて保存]ダイアログでファイル名を付けて[保存]をクリックします。



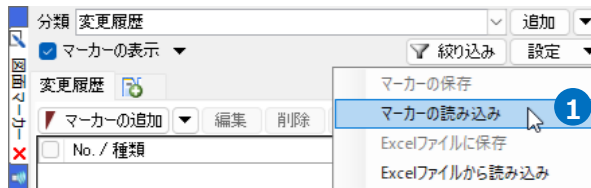
- 3 [図面マーカースの保存]ダイアログで保存するマーカースにチェックを入れ、[OK]をクリックします。
→図面マーカースファイル(*.RebroMarker)が作成されます。



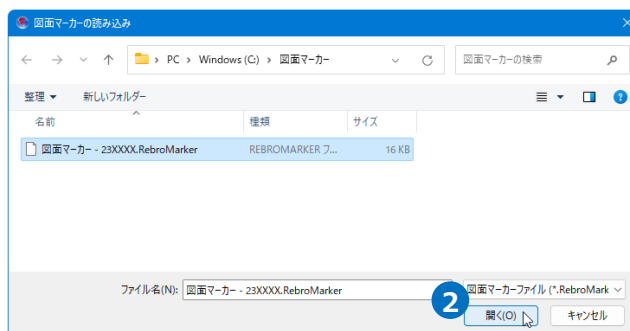
マーカの読み込み

図面マーカファイル(*.RebroMarker)を読み込みます。

- 1 [図面マーカ]パネルで[設定]-[マーカの読み込み]をクリックします。

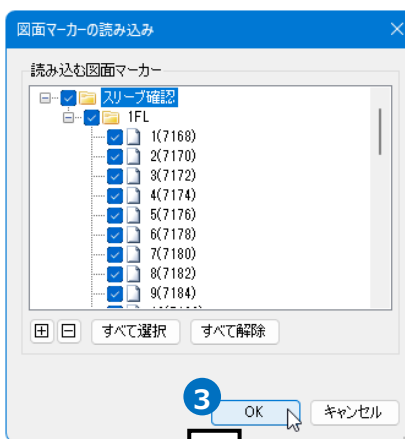


- 2 [図面マーカの読み込み]ダイアログから読み込む図面マーカファイル(*.RebroMarker)を選択し、[開く]をクリックします。

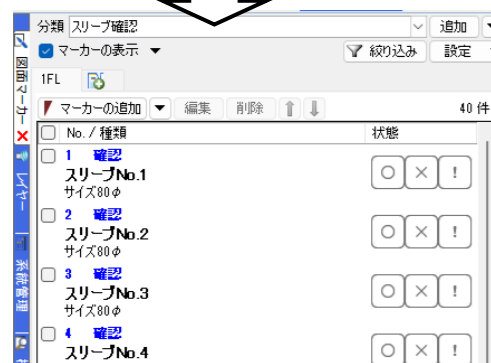


- 3 [図面マーカの読み込み]ダイアログで追加するマーカにチェックを入れ、[OK]をクリックします。

→図面マーカが追加されます。



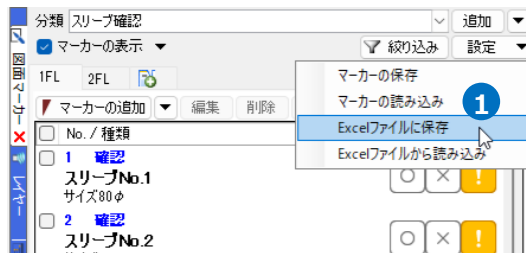
Memo
GUIDが一致する図面マーカがある場合、既存の図面マーカを更新します。GUIDが一致する図面マーカがない場合は、図面マーカを新規作成して追加します。
※詳細はp.21補足説明参照



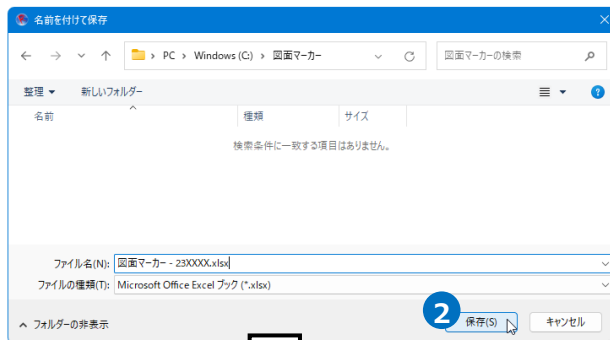
Excelファイルに保存

選択したタブの図面マーカ-の情報をExcelファイルに保存します。

- 1 [図面マーカ-]パネルで保存したいタブを開き、
[設定]-[Excelファイルに保存]をクリックします。



- 2 [名前を付けて保存]ダイアログでファイル名を付けて[保存]をクリックします。
→マーカ-情報がExcelファイルに保存されます。



マーカ-	No.	種類	状態	タイトル	内容	コメント	コメント	作成者	日時	ピン	X	Y	Z	マーカ-	識別子	コメント	識別子
1	確認	!	スリープ No.1	サイズ80φ				〇〇	2023/11/13 9:32	13250	13907.5	3425	7168	0P0nmHe4DD8x_DP9qTAGN	1chappv_1v0uPAorTqSY932		
2	確認	!	スリープ No.2	サイズ80φ				〇〇	2023/11/13 9:32	20750	13907.5	3500	7170	20XbE85qncZPuCIH4ix5Wx	2NPASvgv5FUg75Ik8bqA2c		
3	確認	!	スリープ No.3	サイズ80φ				〇〇	2023/11/13 9:32	27000	13907.5	3565	7172	3_SlmRSXn9KpDvsvYkYR0BP	2uHl8rs9XAWgF07sWxaPgu		

Excelファイルの読み込み

[Excelファイルに保存]から出力したExcelファイルを読み込みます。

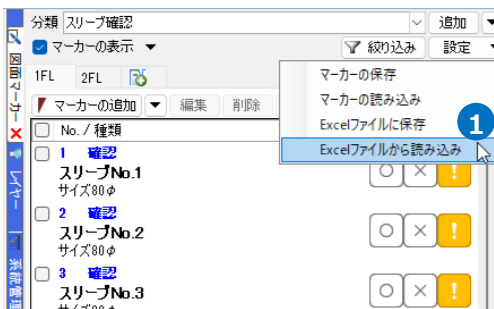
ここでは出力したExcelファイルのコメントを編集した情報を読み込みます。

マーカ-	No.	種類	状態	タイトル	内容	コメント	コメント	作成者	日時	ピン	X	Y	Z	マーカ-	識別子	コメント	識別子
1	確認	!	スリープ No.1	サイズ80φ				〇〇	2023/11/13 9:32	13250	13907.5	3425	7168	0P0nmHe4DD8x_DP9qTAGN	1chappv_1v0uPAorTqSY932		
2	確認	!	スリープ No.2	サイズ80φ				〇〇	2023/11/13 9:32	20750	13907.5	3500	7170	20XbE85qncZPuCIH4ix5Wx	2NPASvgv5FUg75Ik8bqA2c		
3	確認	!	スリープ No.3	サイズ80φ				〇〇	2023/11/13 9:32	27000	13907.5	3565	7172	3_SlmRSXn9KpDvsvYkYR0BP	2uHl8rs9XAWgF07sWxaPgu		

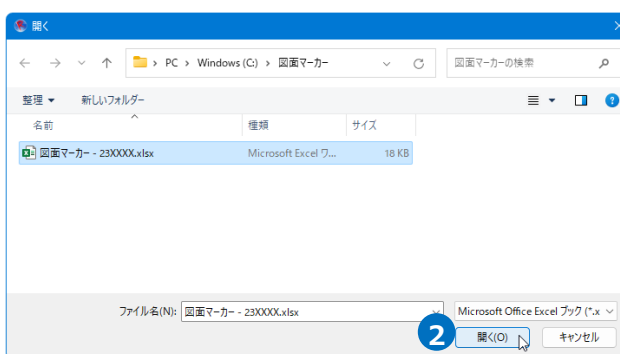
マーカ-	No.	種類	状態	タイトル	内容	コメント	コメント	作成者	日時	ピン	X	Y	Z	マーカ-	識別子	コメント	識別子
1	確認	!	スリープ No.1	サイズ80φ				〇〇	2023/11/13 9:32	13250	13907.5	3425	7168	0P0nmHe4DD8x_DP9qTAGN	1chappv_1v0uPAorTqSY932		
2	確認	!	スリープ No.2	サイズ80φ				〇〇	2023/11/13 9:32	20750	13907.5	3500	7170	20XbE85qncZPuCIH4ix5Wx	2NPASvgv5FUg75Ik8bqA2c		
3	確認	!	スリープ No.3	サイズ80φ				〇〇	2023/11/13 9:32	27000	13907.5	3565	7172	3_SlmRSXn9KpDvsvYkYR0BP	2uHl8rs9XAWgF07sWxaPgu		

状態やコメント、作成者を追記します。

- 1 [図面マーカ-]パネルで[設定]-[Excelファイルから読み込み]をクリックします。



- 2 [開く]ダイアログで読み込むExcelファイルを選択し、[開く]をクリックします。



- 3 [図面マーカ-の読み込み]ダイアログで読み込み先を指定します。

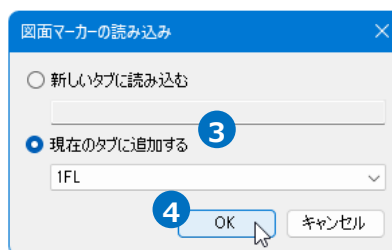
Memo

「新しいタブに読み込む」:

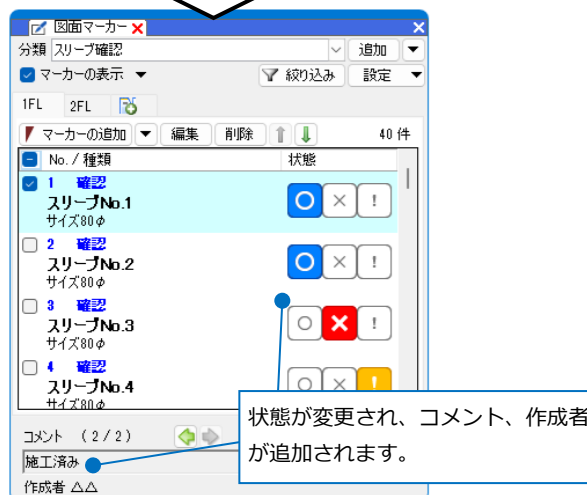
新しくタブを追加し、そこに読み込んだExcelファイルの内容を追加します。

「現在のタブに追加する」:

選択したタブの最後に、読み込んだExcelファイルの内容を追加します。GUIDが一致する図面マーカ-がある場合、既存の図面マーカ-の内容を更新します。



- 4 [OK]をクリックします。
→図面マーカ-情報が更新されます。



● 補足説明

[マーカ-の読み込み]、[Excelファイルから読み込み]コマンドでは、下記の通り図面マーカ-を読み込みます。

GUID が一致する図面マーカ-がある場合

既存の図面マーカ-を更新します。

種類、タイトル、内容	変更しません。
状態	最新コメントの状態に一致するよう更新します。
コメント	既存のコメントとGUIDが一致するコメントは変更しません。一致しないコメントは新規追加します。
ピンの位置	読み込んだ内容に置き換えます。
対象要素([マーカ-の読み込み]のみ)	読み込んだ内容に置き換えます。 ただし、要素IDとGUIDに一致する要素が無い場合、対象要素から削除します。
レイアウト([マーカ-の読み込み]のみ)	読み込んだ内容に置き換えます。 ただし、一致するレイアウトIDが存在しない場合、未設定に変更します。
CGシーン([マーカ-の読み込み]のみ)	読み込んだ内容に置き換えます。 ただし、一致するCGシーンが存在しない場合、未設定に変更します。

GUID が一致する図面マーカ-がない場合

図面マーカ-を新規作成して追加します。

種類、タイトル、内容	読み込んだ内容で設定します。
状態	最新コメントの状態に一致するよう設定します。
コメント	読み込んだ内容で設定します。
ピンの位置	読み込んだ内容で設定します。
対象要素([マーカ-の読み込み]のみ)	読み込んだ内容で設定します。 ただし、要素IDとGUIDに一致する要素が無い場合、対象要素から削除します。
レイアウト([マーカ-の読み込み]のみ)	読み込んだ内容で設定します。 ただし、一致するレイアウトIDが存在しない場合、未設定に変更します。
CGシーン([マーカ-の読み込み]のみ)	読み込んだ内容で設定します。 ただし、一致するCGシーンが存在しない場合、未設定に変更します。

[Excelファイルから読み込み]の場合は、追加した行のGUIDのセルが空欄でもC、E、F、N列のいずれかに値が入るまでは上の行のマーカ-として判断されます。

No.	種類	タイトル	内容	コメント	作成者	日時	ピンの位置			マーカ-識別子		コメント識別子
							K	Y	Z	要素ID	GUID	
1	確認	スリーブ No.1	サイズ80φ			2023/11/13 9:32	13250	13907.5	3425	7168	0P0mmHe4DD8x_DPpqaTAGN	2ohapv_1v0uPAorTqSY932
2	確認	スリーブ No.2	サイズ80φ	施工済み		2023/11/13 9:32	20750	13907.5	3500	7170	20XbE5qncZPuCH4lx5wK	2NPASvgy5FJg75lx8bqAZc
3	確認	スリーブ No.3	サイズ80φ	施工済み		2023/11/13 9:32	27000	13907.5	3565	7172	3_SlmRSXn9KpovsYkYR08P	2uHrs9XAWgF07sWxaPgu

- 補足説明

[図面マーカー]の情報は、[ツール]タブ-[データリンク]を使用してExcelとリンクさせることができます。

※詳しくはテクニカルガイド「[データリンク\(概要編\)](#)」をご参照ください。

- 補足説明

Excelマクロなどからコマンド引数を利用してレプロ図面を開き、図面マーカーを呼び出すことができます。

詳しい操作マニュアルやExcelマクロなどは、HPの購入者専用ページのレプロサンプル「[外部ファイルからの図面マーカー呼び出し](#)」をご参照ください。